

## 逼迫する関電原発の使用済燃料プール

むつ「中間貯蔵施設」の共用化を阻止し、関電原発を停止に追い込もう

関電原発の使用済燃料の貯蔵状況 2021.3 (燃料集合体)

原発	貯蔵量	貯蔵容量	管理容量	空き	1炉心	1取替	残り 運転サイクル	残り年数
美浜3号	412	809	600	188	157	52	3.6	4.8
(美浜1号)	231	288	288	57				
(美浜2号)	510	555	555	45				
(美浜合計)	1,153	1,652	1,443	290	157	52	5.6	7.5
高浜1号	138	424	216	78	157	52	1.5	2.0
高浜2号	58	424	216	158	157	52	3.0	4.0
高浜3号	1,293	1,769	1,561	268	157	52	5.2	6.9
高浜4号	1,454	1,769	1,561	107	157	52	2.1	2.8
(高浜合計)	2,943	4,386	3,554	611	628	208	2.9	3.9
大飯3号	1,546	2,129	1,873	327	193	64	5.1	6.8
大飯4号	1,625	2,129	1,873	248	193	64	3.9	5.2
(3・4合計)	3,171	4,258	3,746	575	386	128	4.5	6.0
(1・2号共用)	629	704	704	75				
(大飯合計)	3,800	4,962	4,450	650	386	128	5.1	6.8

○貯蔵容量、管理容量、1取替数等は、2011年に美浜の会が出した質問書への関電回答による。  
管理容量は、基本的には貯蔵容量 - (1炉心 + 1取替)

[http://www.jca.apc.org/mihama/kanden/kepco\\_qa110131.htm](http://www.jca.apc.org/mihama/kanden/kepco_qa110131.htm)

○ただし、美浜3号の貯蔵容量は、耐震補強のため「フリースタンディングラック」への取替により、1,118体からより809体に減った。

[https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2017/pdf/0608\\_2j\\_02.pdf](https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2017/pdf/0608_2j_02.pdf) (P.4)

○廃止原発の管理容量 = 貯蔵容量

電事連方式：(1炉心 + 1取替)の余裕をとらず一杯に詰めるという考え方。

○各サイトの貯蔵容量合計、貯蔵量合計は、関電サイト公開データ(2020年度末)と一致していることを確認。

[https://www.kepco.co.jp/energy\\_supply/energy/nuclear\\_power/info/knic/library/untan/chozou.html](https://www.kepco.co.jp/energy_supply/energy/nuclear_power/info/knic/library/untan/chozou.html)

○残り年数は、1サイクルの運転期間13カ月、定検期間3ヶ月の計16ヶ月として計算。

○電事連報告\*はサイトごとの合計で5年後(4サイクル後)の貯蔵割合を出しているが、それは、廃止炉の燃料プールを使うことを想定することになる。美浜と大飯は、廃止炉を除く合計で計算すべき。

\*「使用済燃料貯蔵対策の取組強化について」電事連 2021年5月25日 下記P.9

[https://www.fepc.or.jp/about\\_us/pr/oshirase/\\_icsFiles/afieldfile/2021/05/25/press\\_20210525\\_2.pdf](https://www.fepc.or.jp/about_us/pr/oshirase/_icsFiles/afieldfile/2021/05/25/press_20210525_2.pdf)